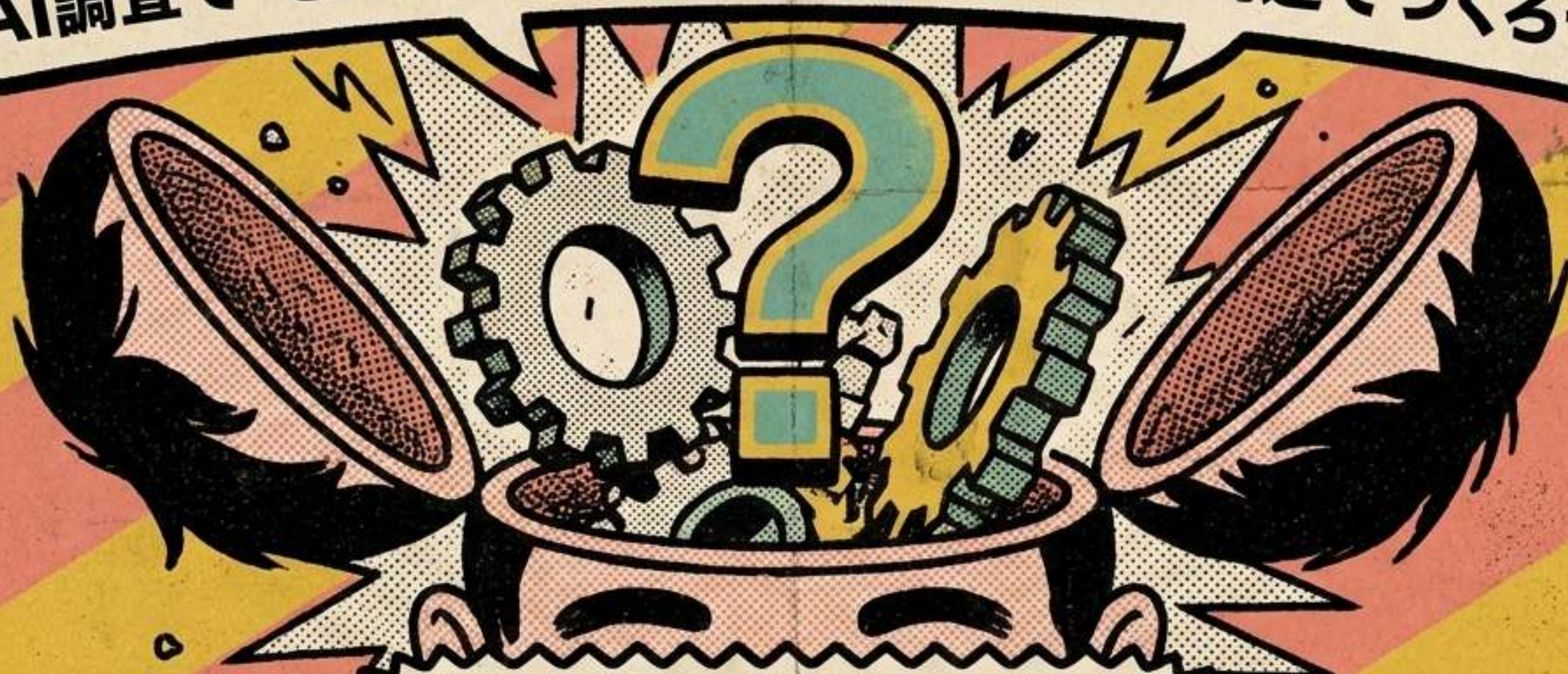


VOL.01

2026.05.28 (THU)

長崎北高探究ミルら★チャレンジ

AI調査で「ぜんぜん知らない知識」の地図を高速でつくろう



**NAGASAKI-KITA HIGH SCHOOL
2nd GRADE INQUIRY**

「アフリカ」と聞いて、何を思い浮かべる？

…サバンナ？

…貧困？

…援助？

…裸足で
走る子ども？



そのイメージ、
もう古いかもしれない。

今日は、新しいアフリカを君たち自身が AI を使って 自らの手で知っていく。

FACT #01

A:
ケニアの
「M-PESA」



ケニアのGDPの
約半分が、
ここを通る。

銀行口座を作る人より先に、「携帯送金」の仕組みが国中に広まった。

【衝撃のスケール】：日本の「PayPay + 楽天Pay」の合計よりも、ケニア1国のM-PESAの方が大きい。

**FACT
#02**

パリの8万人スタジアム、単独で完売。

**B: ナイジェリア発
「Afrobeats」**

2025年4月、Burna Boy (バーナ・ボーイ) が
アフリカ人アーティストとして初の快挙を達成。

【衝撃のスケール】：いま、世界のSpotifyチャートは
Afrobeatsの勢いに飲み込まれている。



MISSION: 25分間の「ミリしら」サバイバル

1ミリも知らない



AIと知識の地図を作る



他人に語れる状態へ



この話、知ってた？ ほぼいないはず。今、AIを使えば、たった25分で「未知の知識の地図」を高速で作れる時代だ。答えを出してもらわない。一緒にオリジナル地図を作れ。

今日のゴールは、地図の「外」にある。

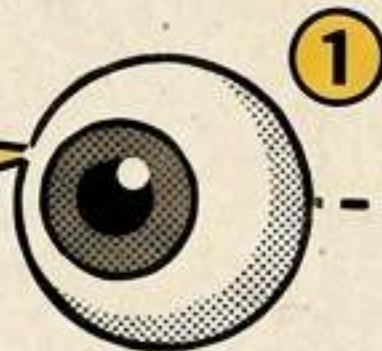


AIを使って地図を作って、
それで終わりじゃない。

完成した地図の中に、
「もっと知りたい」と思う
【独自の問い】を見つけること。
これが本当のゴールだ。

調査の解剖図：5つの問い

①【眼】概観：
まずテーマ全体を、
ざっくり一望する。



②【歯】分解：
論点に分けて、班
で手分けして深掘り
する（噛み砕く）。



③【舌】区別：
何が「事実」で、何が
「議論中」かを分ける
（味わい分ける）。



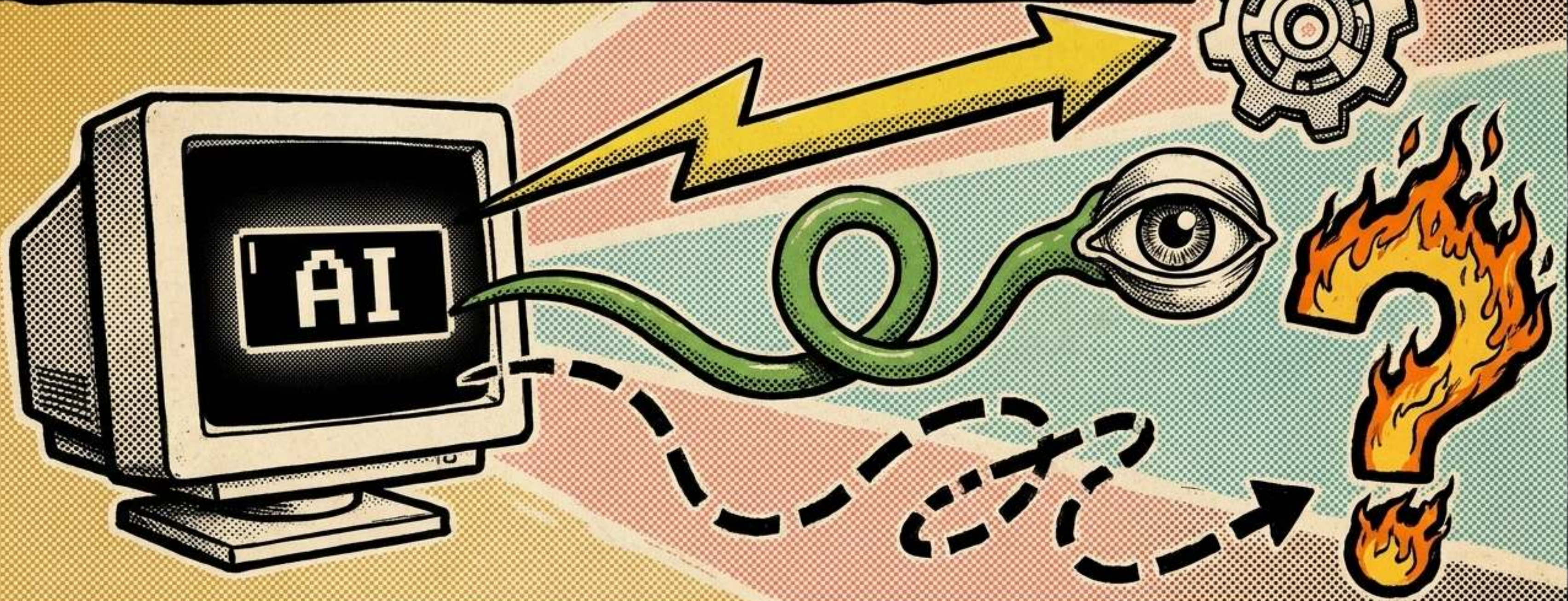
④【神経】影響：
誰に、どんな影響
と副作用が起きて
いるか整理する。



⑤【脳】発見：異な
る切り口で、次に深掘
りする問いを見つける。



同じAI、同じ質問。でも、行き着く先は違う。



人によって深掘りの方向が全く変わる。その違いこそが、君たちの「問いの個性」になる。恐れず自分の道を進め。

発表テンプレート(2分・必須3項目) / 配布資料の裏面を見て、この3コマを埋めるだけ!

【コマ1:概観】

私たちが調べたテーマは
「
」です。

(3行で、聞いたことがない人に伝わるように要約)



【コマ2:衝撃】

一番「えっ!?!」と驚いた
のは、「
」
ということでした。

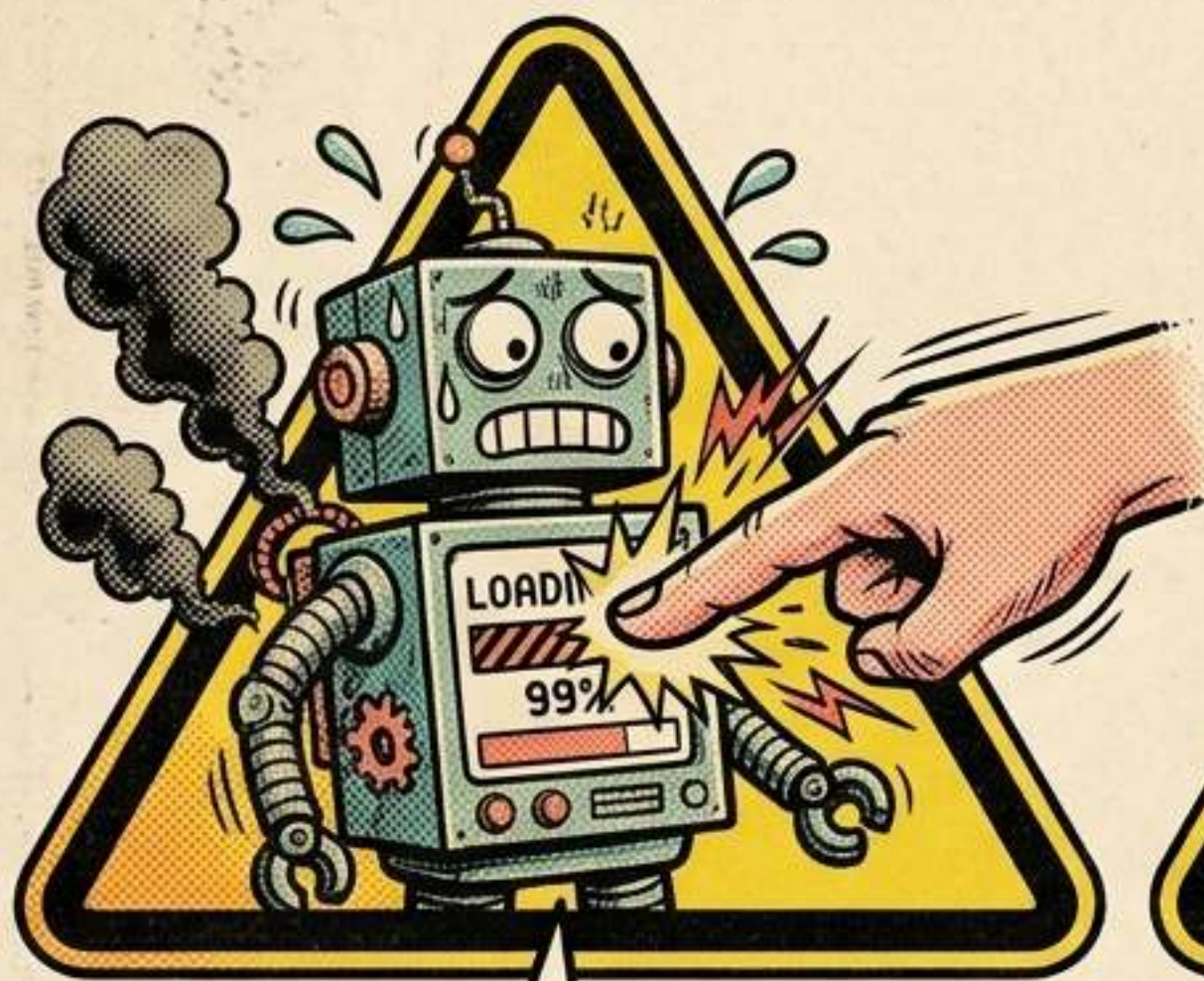


【コマ3:発見】

さらに調べるなら、私たちは
「
」という問いを
深めてみたいです。

⚠ Copilot ジャングル・サバイバルルール

(学年240人同時アクセスの試練)



① 連打禁止！

応答が遅くても30秒待つ。
連打すると逆に遅延する。



② ネットが死んだら班で1台に

1人ずつ使うのをやめ、班で1台の
端末に集約して続行せよ。



③ 25分を溶かすな！

AIの答えは長くなりがち。全部読むな。
見出し・太字・箇条書きだけを拾え。

A: ケニアの「M-PESA」
(テクノロジー)



よい、スタート!



B: ナイジェリア発「Afrobeats」
(カルチャー)

2つのテーマから 班ごとに直感で 選べ。ここに時間をかけると調査時間が削れるぞ。